

教育の振興に関する施策の大綱（改訂版）

～ふるさとに自信と誇りの持てる教育～

平成29年3月

（平成31年1月 一部改訂）

鯖江市

1 鯖江市の教育の基本指針

ふるさとに自信と誇りの持てる教育

本市は、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本コンセプト『世界にはばたく地域ブランド「めがねのまちさばえ」』を踏まえ、その基本目標である「若者が住みたくなるまちの創造」、「若くて元気なまちの創造」の実現を図るため、本市が育んできた豊かな自然や歴史・伝統・文化、先人の残した豊富な資産や宝を活かした「ふるさとに自信と誇りの持てる教育」を推進します。

2 大綱の期間

この大綱が対象とする期間は、平成29年度から平成33年度までの5箇年とします。

3 施策の基本指針

鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、次の施策を推進します。

1 ふるさとを学ぶ

- ・先人から受け継いだ郷土の歴史、伝統、文化、産業、自然、環境等について、体験活動を推進し、子どもたちが自ら進んで学ぶふるさと学習や地域の人々とのふれあいを通して、ふるさとへの愛着と誇りを養うとともに、地域の課題と向き合い、地域文化を発展させる重要な一員であるという自覚を育みます。
- ・ものづくり体験、職場体験等を通して、伝統ある地場産業の優れた技術や将来性を理解し、ふるさと鯖江で働く意識を高める教育を進めます。

2 生きる力を身につける

- ・豊かな人間性の育成をめざして、道徳教育の充実に努めます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組み、自ら考える力を育むとともに、学力の向上を図ります。
- ・学校におけるICTの活用・普及を推進し、わかりやすい授業づくりに向けた環境を整えるとともに、将来を見据えたプログラミング学習や情報モラル教育を進めます。また、グローバルな人材（地元の発展に貢献できる人材や国際社会で活躍できる人材）を育成するため、英語教育の充実支援に取り組みます。
- ・食育を通して、健康な心身の育成や伝統的な食文化の継承を図るとともに、食の恵みに対する感謝の心や「食と環境」、「地産地消」など社会的課題に向き合う心を育てます。
- ・児童生徒に読書の楽しさや知ることの喜びを学習させ、豊かな感受性や人間

性を育てるため、学校図書館の充実を図ります。

- ・生活の基礎となる体力・気力の充実を図るため、運動好き、体育好きの子どもたちの育成と生涯スポーツへの意識高揚を図ります。
- ・奉仕体験や地域活動への参加等を通して、子どもたちが進んで地域に貢献しようとする心やボランティア精神の醸成を図り、将来の市民主役のまちづくりの担い手を育てます。
- ・自らの命を守る防災教育を推進し、危険を予測し、回避する能力を高めるとともに、通学路の危険箇所の点検・対策の実施等、子どもたち周辺の安全対策を図ります。
- ・2030年の地球を担う今の子どもたちに、国連が定めた持続可能な開発目標(SDGs)を理解する学習を取り入れ、身近なところから考えるきっかけづくりを進めます。

3 家庭や地域の教育力を高める

- ・幼児教育・保育に対する多様なニーズに応えるため、地域の実情を考慮しながら、保育所・幼稚園の認定こども園への移行に取り組みます。
- ・子どもたちが健やかに育ち、元気で就学していくために、早い段階から基本的な生活習慣や食生活の形成、規範意識の育成など家庭や地域との連携による取組みや小学校との交流事業を推進し、幼児教育の環境整備に努めます。
- ・地域の幼児が気軽に遊びにくることができる地域に開かれた保育所（園）・幼稚園・認定こども園づくりの取組みを進めます。
- ・家族の絆を深める取組みなどの家庭教育への支援を通して、家庭や地域の教育力向上、子どもたちの活動の活性化と健全育成を目指します。
- ・将来の鯖江、地域を支える子どもたちの社会力を高めるため、地域活動等に参加する機会の確保に努めます。
- ・地域の青少年健全育成体制を充実し、地域ぐるみで青少年を守り育てる環境をつくとともに、青少年補導体制を充実し、関係機関と連携して非行や問

題行動の予防、早期発見、早期対応に努めます。

- ・若者の活動を支援するため、同世代とのふれあいや社会との接点の場をつくり、連帯感の創出や社会参加を促します。
- ・生涯学習・地域コミュニティの中核施設としての役割を果たしている公民館を、地域づくりや環境、地域福祉、防災教育など、市民生活と密接に関わり、地域住民との協働が必要な活動も含めた「生涯学習・まちづくり活動」を支援する場としての充実に努めます。

4 文化遺産を活かす

- ・伝統産業や食文化等も含めて、地域に根ざした文化遺産を保存・継承するとともに、その魅力に気づかれないままに埋もれている地域の文化遺産を掘り起こし、市民共有の宝として磨きをかけ、発信します。
- ・子どもから高齢者まで、すべての人が気軽に文化・芸術の鑑賞や自ら参加できる場や機会を得ることができるよう環境整備を進めます。

5 いつでも・どこでも・だれでも・たのしく学ぶ

- ・市民一人ひとりの学習意欲の高まりに応え、各種の学級・文化講座や講演会をはじめとした多様な開かれた学習機会の提供に努めます。
- ・市民や民間団体等との協働事業により、市民が歴史遺産に触れる機会や教養を身に付ける場を提供し、市民主役による賑わいのあるまちづくりを目指します。
- ・高齢者が自ら学び地域社会活動への参画を図るため、全国に誇れる高年大学の充実など、生涯学習環境の整備に努めます。
- ・地域人材の発掘・育成、社会学習成果の地域での活用により、地域における生涯学習体制を整備し、充実した学習活動が行えるよう支援します。

6 いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも気軽にスポーツを楽しむ

- 生涯スポーツの発展を図るため、総合型スポーツクラブとの連携など、青少年期から幅広いスポーツ種目に取り組める機会の確保に努めます。
- 性別、年齢、障がいの有無に関わらず、誰もがいつまでも気軽にさまざまなスポーツに親しむことができるスポーツ環境の整備に努めます。